

さいたまスーパーアリーナの整備

さいたまスーパーアリーナは、日本最大級のアリーナ施設として、国際的なイベントを多数開催している埼玉県を代表する大規模施設です。開館から20年以上が経過した現在でも、高い稼働率を誇っていますが、電気・空調などの各種設備の老朽化が課題となっています。また、多くの設備で構成されているため、計画的な整備が必要です。埼玉県では、さいたまスーパーアリーナが最先端の施設であり続けられるよう、機能性の向上や省エネ化などに考慮して施設整備を行っています。



都市整備部 設備課
企画・設備技術・大規模担当 技師

吉田 純 yoshida jun



異動歴

- 平成29年4月採用 危機管理防災部 消防防災課 防災情報無線担当
- 令和2年4月 県民生活部 スポーツ振興課 総務・施設担当
- 令和4年4月 県民生活部 スポーツ振興課 スポーツ施設担当(組織変更)
- 令和5年4月 現所属

この事業のやりがい、魅力について

さいたまスーパーアリーナには、客席や天井などが可動するムービング・ブロックシステムなど大規模施設にしかない特殊な設備が多く、ここでしかできない経験を積み、知識を得ることができます。また、設計から竣工までの一連の業務に携わることで、自身の努力やアイデアを反映した成果が形として残るため、非常にやりがいと魅力を感じます。特に、施設の管理者や利用者から「工事のおかげで施設がより良くなったよ」と喜びの声が届いた際は誇らしく思いました。

水インフラの電気設備・機械設備の工事

水道は、県民の生活に欠かせない重要なライフラインです。災害時や河川の水質異常時にも断水することなく、安定して水を供給し続けることが求められます。そのため、浄水場の運転管理業務だけではなく、場内施設の修繕・更新工事も重要な業務です。将来にわたり安全・安心な水インフラを維持していくため、浄水場では様々な電気設備や機械設備の修繕・更新工事を行っています。



撮影：大久保浄水場

この事業のやりがい、魅力について

全国で4番目に大きい規模を誇り、埼玉県の基幹浄水場である大久保浄水場で、主に機械設備の維持管理を担当しています。特に印象に残っている業務は、浄水場に導入する高度浄水処理施設の設計に携わったことです。将来的に長く使えるようイメージを膨らませ、また関係者と何度も協議を重ねて形にしていくことにやりがいを感じました。生活に必要な不可欠な水道水を作ることは、他にはない魅力だと自負し、安全で安心な水道水をお届けするために日々奮闘しています。

企業局 大久保浄水場
(機械施設部) 機械施設担当 主任

山口 大器 yamaguchi taiki



異動歴

- 平成27年4月採用 企業局 大久保浄水場 (機械施設部) 高圧ガス施設担当
- 平成30年4月 企業局 新三郷浄水場 (技術部) 技術第一担当
- 令和3年4月 現所属